

News Release



平成28年 5月16日

各報道機関文教担当記者 殿

北陸周辺地域の未来を担う高校生の育成拠点を構築 JST「グローバルサイエンスキャンパス」に採択

このたび、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する平成28年度「グローバルサイエンスキャンパス」（※）に、本学の事業「世界でかがやく科学技術イノベーション人材の育成」が採択されました。

同事業の目的は、「北陸周辺地域（石川、富山、福井、新潟、長野、岐阜）の未来を担う高校生の育成拠点の構築」。本学が、国際的に活躍する次世代の傑出した科学技術人材育成へのスタートポイントとなることを目指します。

そのために、北陸周辺地域で卓越した意欲・能力を有する高校生を発掘し、本学が推進する先端融合研究領域の教育プログラムを年間50名程度の高校生に提供。高校生時代の早期から、分野の融合・連携の重要性を認識・修得させることで、「物事を多面的に捉え、既存の分野に留まらずに国際的視野を持って科学技術研究を強い意志で志向できる人材」の育成を行います。

今後は、北陸周辺地域の各県教育委員会を介して、各高校に広く本事業を周知し、高校1、2年生を対象とした受講生募集を行っていく予定です。

（※）「グローバルサイエンスキャンパス」

将来グローバルに活躍しうる傑出した科学技術人材を育成することを目的として、地域で卓越した意欲・能力を有する高校生等を募集・選抜し、国際的な活動を含む高度で体系的な、理数教育プログラムの開発・実施等を行う大学をJSTが支援するもの。平成28年度は13機関が応募し、本学と名古屋大学の2機関が採択されました。

（本件照会先）
金沢大学学生部学務課長 津島
Tel：076-264-5152

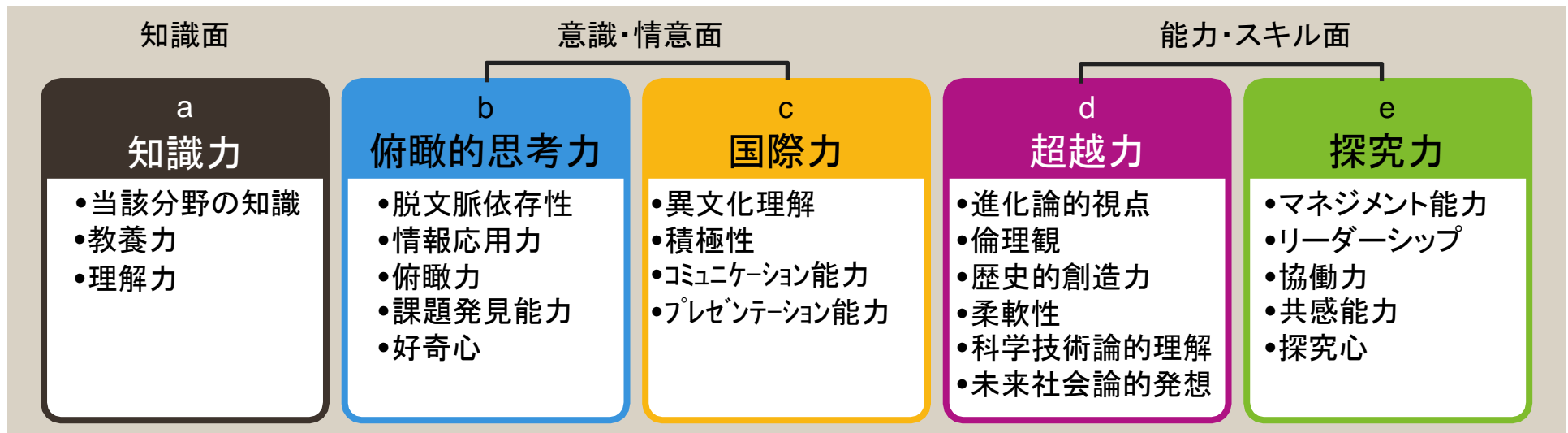
（広報担当）
金沢大学総務部広報室 寺口
Tel：076-264-5024

達成目標【育てたい人材像】

【育てたい人材像】

物事を多面的に捉え、既存の分野に留まらずに 国際的視野をもって科学技術研究を強い意志で志向できる人材

次の5つの能力・資質を備える



【本事業の達成目標】

卓越した意欲・能力を有する高校生を発掘・育成していく拠点としての機能を整備

継続的に優秀な人材養成を実現

北陸周辺地域の未来を担う高校生の育成拠点構築

プログラム概要

